

事業報告書

平成30年度

社会福祉法人 豊寿福社会

軽費老人ホーム 豊寿苑

目 次

1、法 人 と 施 設

- (1) 施設の概要および沿革
- (2) 施設運営の基本方針
- (3) 役員名簿
- (4) 利用者名簿
- (5) 寄附金について

2、処 遇 に つ い て

- (1) 豊寿苑職員に求められる適性と行動基準
- (2) 会議の状況
- (3) 利用者に関する記録
- (4) 行事について

3、利用者について

- (1) 利用者の収入状況について
- (2) 入所前の住所について
- (3) 利用者の在苑期間について
- (4) 利用者の年齢について
- (5) 利用者の縁故者状況
- (6) 利用者の入退苑

4、医 務 に つ い て

- (1) 在苑者の入院回数
- (2) 入院者の状況
- (3) 病名別人数

5、給 食 に つ い て

- (1) 一日の栄養基準量について
- (2) 給食会議
- (3) 行事食
- (4) 献立表抜粋

1、法人と施設

(1) 施設の概要

設 置	社会福祉法人 豊寿福祉会		
施設の名称	軽費老人ホームA型 豊寿苑		
入所者定員	50名		
位 置	長野市篠ノ井岡田 3241 番地		
土 地	所 有 地	2,617.95m ²	
	長 野 市 より借 地	961.24m ²	
	合 計	3,579.19m ²	
建 物	鉄 筋 コンクリート造	二 階 建	
	延 床 面 積	1,923.62m ²	
	平成16年7月30日	増改築工事竣工	

(2) 沿革

昭和54年 9月26日	厚生省に社会福祉法人の設立認可の申請を行う。
昭和55年 7月 1日	厚生省より社会福祉法人 豊寿福祉会の設立認可を受ける。
昭和55年 7月16日	長野地方法務局に法人の設立を行う。 初代理事長として中居四郎氏が就任する。
昭和55年10月15日	財団法人日本船舶振興会より軽費老人ホーム豊寿苑の建設資金として151,700,000円の補助金の交付を受ける。
昭和55年11月11日	軽費老人ホーム 豊寿苑の建設に着手する。 設 計 (株) ナカイ設計事務所 主 体 工 事 (株) 守谷商会 設 備 工 事 日新工業 (株) 設 備 工 事 丸十電気工事 (株) 設 備 工 事 伊東産業 (株) 長野支店
昭和56年 5月31日	軽費老人ホーム豊寿苑の建設を完了する。
昭和56年 6月 1日	長野県より軽費老人ホーム豊寿苑運営開始の許可を受ける。 初代苑長として宮下豊次氏が就任する。
昭和56年10月29日	社会福祉事業振興会より軽費老人ホーム豊寿苑の建設資金として80,000,000円の借入を行う。
昭和57年 3月24日	二代目苑長として中居 光氏が就任する。
昭和58年 8月15日	財団法人日本船舶振興会の会長 笹川良一氏が来苑し入居者と親しく懇談する。
昭和61年10月13日	二代目理事長として深沢 博氏が就任する。
平成 3年 5月24日	創立10周年記念式典を挙げる。
平成 5年11月 1日	豊寿苑増改築工事を行う。(54.82m ² 増築)
平成 8年 7月17日	三代目理事長として瀧澤益貴氏が就任する。
平成 9年 4月 6日	三代目苑長として瀧澤昌直氏が就任する。
平成11年10月 4日	四代目理事長として齋藤政雄氏が就任する。

- 平成12年10月 1日 四代目苑長として風間静也氏が就任する。
- 平成15年12月25日 豊寿苑増改築工事の指名競争入札が行なわれる。
滝澤建設(株)に落札決定
- 平成15年12月26日 豊寿苑増改築工事、滝澤建設(株)と92,400,000円(消費税含む)にて契約がなされる。
- 平成16年 4月15日 独立行政法人福祉医療機構より豊寿苑増改築工事建築資金として31,100,000円借入を行う。
- 平成16年 8月26日 日本財団より豊寿苑増改築工事助成金として68,200,000円交付を受ける。
- 平成16年 9月30日 豊寿苑増改築工事竣工式が行われる。
- 平成17年11月28日 日本財団より福祉車両助成金交付決定。
- 平成19年 3月17日 豊寿福祉会と段ノ原区並びに本組区と、それぞれ災害協定を締結する。
- 平成20年 5月12日 五代目苑長として佐藤壽憲氏が就任する。
- 平成21年 2月12日 六代目苑長として渡辺 悟氏が就任する。
- 平成22年 5月21日 郵便事業(株)より年賀寄付金分配決定。
(暖房用配管修繕工事)
- 平成22年 7月19日 五代目理事長として松坂 賢氏が就任する。
- 平成23年 1月28日 不在者投票施設指定許可を受ける。
- 平成23年 3月30日 社会福祉法人長野県共同募金会より助成金交付決定。
(自動火災報知設備・非常用放送設備の改修工事)
- 平成23年 4月 1日 財団法人JKAより福祉車両(車いす対応)助成金交付内定。
- 平成24年 7月20日 六代目理事長として小笠原 安雄氏が就任する。
- 平成24年 9月 30周年記念誌を発刊する。
- 平成25年 4月 5日 苑長代行として小笠原 安雄氏が就任する。
- 平成25年 5月 屋根塗装・廊下床張替工事实施。
- 平成25年 9月30日 長野県より介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金をうけ
スプリンクラー設備を設置する。
- 平成26年 2月 長野市より建築物耐震改修促進事業補助金をうけ耐震診断を
実施。
- 平成26年 2月20日 太陽光発電システム設備設置工事完了。発電開始。
- 平成26年 4月17日 エアコン及び高圧受電設備設置工事完了。
- 平成27年 3月20日 係争事件は長野地方裁判の判決が下り、当法人の勝訴となるも2週間の控訴
期間があり結審は相手方の出方次第となる。
- 平成27年 4月 9日 2週間の控訴期間が過ぎ相手方より控訴がないため、当法人の勝訴で結審とな
る。
- 平成27年 6月30日 玄関屋根防水改修・照明器具取替工事完了。
- 平成27年12月10日 2階屋根防水改修工事完了。
- 平成28年 1月 5日 7代目苑長として西 助雄氏が就任する。
- 平成28年 5月 浄化槽配管修繕工事完了。
- 平成28年 7月 給湯用ボイラの入替工事。
- 平成28年12月 7日 廊下エアコン設置工事完了。

- 平成29年 8月 1日 8代目苑長として東海林 貴晃氏が就任する。
- 平成29年11月 1日 受水槽ボルトキャップ取付工事完了。
- 平成29年12月 8日 長野市介護保険関連サービス基盤整備補助金をうけ
防犯設備設置工事完了する。
- 平成30年12月21日 外壁塗装及び非常階段修繕工事完了する。

平成30年度事業計画

理念

豊寿苑は地域社会の支持を受けて、高齢者が地域で安心して生活を送ることができる拠点施設となることを使命とし、

1. 高齢者の生活と人権を擁護するため、自己点検を強化し、公平・公正な開かれた施設運営に努めます。
2. 利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、可能性の実現と生活の質の向上に努めます。
3. 常に誠意をもって質の高いサービスが提供できるよう、研修・研究に励み、専門性の向上に努めます。
4. 地域社会の一員としての自覚を持ち、保健・医療等関連分野との連携を強化し、地域福祉の向上に努めます。
5. 信頼性の高い効果的・効率的経営の観点から、安定的な財務基盤の確立と適切な財務管理・会計処理を行います。

基本方針

1. 権利擁護の徹底
サービス評価基準を元に自己点検を繰り返し実施し、継続的な権利擁護に関する取り組みを実践する。
2. 低所得者への配慮
介護保険サービス、障害福祉サービス等、負担軽減に関する取り組みを積極的に支援し、良質且つ安心・安全なサービスの提供を実践する。
3. 人材の育成
外部研修の成果が職場全体に活かされる仕組みを構築する。
4. 地域における福祉の推進
学校教育への協力、ボランティアの受け入れ等を積極的に行うと共に、地域包括ケアシステムを有効的に利用し、住民主体による福祉実践に向けての取り組みを行う。
5. コスト意識の醸成
職員全体のコスト意識を醸成するための取り組みを行う。

重点実施事項

◎ 全般（施設長）

- ・ 建物のメンテナンスに留意し耐用年数の延伸を計る。
非常階段・外壁等、経年劣化による補修繕に努める。
助成金の獲得に努力する（共同募金・年賀郵便・日本財団・役所等）
- ・ 外部研修の成果を職員全員が共有できるよう、研修発表の機会を設け社会福祉の向上を計る。
- ・ 社会福祉法人経営の外部研修に役員の参加を計り、状況、情報の把握に努める。
- ・ 安定した運営の為に入居者の確保に努める。
- ・ リスクマネジメント（危機管理）の徹底。考えられるリスクに対して話し合い対応できるようにしていく。

◎ 生活部門

- ・ 入居者の確保及び施設移動を的確にするため、苑の待機者状況や生活困難予想者の情報を長野市・包括支援センター・ケアマネジャー等と共有をする。
- ・ 介護保険サービス利用者の情報（デイ及び苑での生活状態）をケアマネジャーと共有し、苑での生活を出来る限り維持できるようにする。

◎ 介護部門

- ・ サービス計画書の実践及び、必要に応じ再アセスメントを行う。
- ・ 日々の観察と傾聴に努め安心安全な生活への援助をしていく。

◎ 給食部門

- ・ 平成29年度は厨房内のエアコンを入れ替えることができ冷暖房とも使用可能となった。30年度は経年劣化している電解水生成装置及び軟水機及び調理設備器具に注視し検討する。
- ・ 給食懇談会等入居者の声を参考にして献立、調理法に反映させ希望に添うよう細部に配慮する。
食器の入れ替えは30年度から施設負担になるため順次検討する。

◎ 医務部門

- ・ 感染及び食中毒の予防及び蔓延の防止に努める。
- ・ 平常時から予防対策を実施。感染対策委員会、研修の実施。感染症発生時には適切な対応をする。
- ・ 利用者の健康状態（身体的・精神的）を把握し、状態の変化を注意深く観察し異常の早期発見に努める。

◎ 事務部門

- ・ 事務職のリスクマネジメントを行い更に正確に効率よく就労する。
- ・ 償却期間が過ぎ、備品の経年劣化が増えてきている。備品の購入や修繕、保守点検を行い安全に使用できるように努める。

(3) 役員名簿

(理事)

理事長	小笠原 安雄	理事	松坂 賢
理事	伊藤 英利	理事	清水 彰治
理事	丸山 都男	理事	小山 岑晴
理事	山崎 恒政	理事	東海林 貴晃
		計	8名

(監事)

監事	高橋 宏	監事	島田 庸夫
		計	2名

(評議員)

評議員	町田 和富	評議員	西澤 毅洋
評議員	小河原 好友	評議員	望月 義寿
評議員	山浦 弘	評議員	桑原 正道
評議員	吉岡 角男	評議員	太田 信
評議員	島田 宗四郎		
		計	9名

(4) 利用者名簿 別 添

(5) 寄附金について 平成30年度 寄附金 3件 71,320円

豊寿苑在苑者 年齢順名簿

入苑順	NO	男順位	女順位	氏名	年齢	生年月日
272	1		1	H. T	99	大正 8 6. 2 2
290	2		2	M. O	96	大正 1 2 2. 1
305	3		3	M. K	92	大正 1 5 8. 1 7
319	4		4	Y. S	92	大正 1 5 1 0. 2 0
282	5		5	K. T	90	昭和 3 1. 2 5
211	6		6	H. M	90	昭和 3 1 1. 1
304	7		7	S. M	90	昭和 4 3. 2 5
220	8		8	S. S	89	昭和 5 2. 1 2
265	9		9	H. K	89	昭和 5 3. 2 6
270	10		10	Y. M	88	昭和 5 4. 1
216	11		11	K. H	88	昭和 5 5. 1
289	12		12	S. S	87	昭和 6 7. 2 6
224	13		13	Y. Y	87	昭和 6 9. 2 4
275	14		14	O. H	87	昭和 7 3. 2 0
278	15		15	Y. Y	86	昭和 7 4. 2 0
280	16		16	Y. R	85	昭和 7 1 0. 3
320	17		17	N. Y	85	昭和 8 1. 2 0
244	18		18	T. M	85	昭和 9 1. 1 8
300	19		19	O. K	85	昭和 9 1. 2 5
303	20		20	T. T	83	昭和 9 4. 1 2
238	21	1		A. M	83	昭和 1 1 2. 1 3
240	22		21	Y. T	82	昭和 1 1 8. 1 4
318	23	2		O. H	81	昭和 1 2 1. 2 9
295	24	3		Y. H	81	昭和 1 2 5. 1 7
313	25		22	M. K	81	昭和 1 2 6. 9
242	26	4		H. S	81	昭和 1 2 1 0. 2 1
222	27		23	N. F	81	昭和 1 2 1 2. 3
310	28		24	S. A	81	昭和 1 3 2. 1 2
317	29	5		M. K	80	昭和 1 3 4. 1 4
291	30		25	N. S	80	昭和 1 3 8. 1

入苑順	NO	男順位	女順位	氏名	年齢	生年月日
277	31		26	K. T	80	昭和13 8. 28
287	32		27	M. T	79	昭和14 9. 14
286	33		28	A. T	79	昭和15 1. 25
298	34	6		M. N	78	昭和15 5. 11
309	35	7		M. M	77	昭和16 8. 27
246	36	8		M. H	77	昭和17 2. 14
256	37		29	Y. K	76	昭和17 6. 7
301	38		30	N. Y	76	昭和17 8. 4
299	39		31	Y. K	75	昭和18 5. 15
316	40	9		F. N	75	昭和19 2. 12
263	41		32	K. M	74	昭和19 4. 22
273	42		33	U. M	74	昭和20 3. 14
269	43		34	K. K	73	昭和20 11. 1
307	44	10		S. T	72	昭和21 5. 16
293	45	11		M. K	72	昭和21 7. 3
308	46	12		K. H	65	昭和28 9. 9
男性-12名 女性-34名						
平均年齢82.3歳 男性平均 76.8歳 女性平均 84.2歳						
H31年3月31日現在						

2. 処 遇

(1) 苑職員に求められる大切な心

1. ハイという素直な心
2. スミマセンという反省の心
3. オカゲサマという謙虚な心
4. アリガトウという感謝の心
5. サセテクダサイという奉仕の心

(2) 会 議

会 議 名	開 催 数	参 加 者	目 的
職員会議	毎月1回	全職員	職員間の業務連絡調整 行事实施の打ち合わせ
ケース会議	毎月1回	全職員	処遇方法についての検討
給食懇談会	隔月1回	利用者 (1回8名) 栄養士	利用者より意見、要望 を聞き現場に反映させる
茶話会	毎月1回	全職員 利用者	利用者の意見、要望の 収集 苑からのお願い事項

(3) 利用者に関する記録

※ 数値は平成30年度の年間数値を示す

面会者	延人数	959人	外泊者	延人数	30人
通院バス	運行回数	47回	買い物バス	運行回数	24回
	延利用者数	176人		延利用者数	270人

ビデオ	開催回数 延参加人数	10回 134人	カラオケ クラブ	開催回数 延参加人数	12回 126人
ちぎり絵クラブ	開催回数 延参加人数	12回 64人	健康体操 クラブ	開催回数 延参加人数	36回 687人
マレットゴルフ	開催回数 延参加人数	7回 31人	おりがみ	開催回数 延参加人数	12回 76人
書道クラブ	開催回数 延参加人数	12回 77人			

(4)行事について

平成30年度行事実施表

月	日	行事名	参加人数	月	日	行事名	参加人数
4	1 2	春の大掃除 (すのこ)	1 1		3	文化祭 (作品展)	1 4
	1 9	お花見 (松仙閣)	3 9	1 0	1 1	映画会 (北の桜守)	2 9
					1 8	遠足 (ぽかぽかランド美麻)	2 3
5	1 0	火災訓練	4 4		1	火災訓練	4 6
	1 7	遠足 (菊水)	2 4	1 1	8	室内運動会	3 8
	2 9	共和保育園交流会	1 8		1 5	誕生会 (10. 11. 12月生)	4 5
6	5	しょうぶ湯	4 5		1 1	共和保育園交流会	4
	1 4	共和小学校交流会	2 0	1 2	1 3	年忘れお楽しみ会	4 5
					1 9	ゆず湯	4 5
7	5	室内運動会	3 8				
	1 2	共和保育園交流会	9	3 1年 1	1 7	新春お楽しみ会	4 4
	1 9	遠足 (湯楽里館)	2 4				
8	2	七夕祭り	4 7		7	節分豆まき	4 4
	1 7	お盆の法要	3 0	2	1 4	室内運動会	3 7
	2 1	更級農業高校交流会	1 4				
9	1 1	お彼岸の法要	3 3		1 4	お彼岸法要	3 3
	1 3	敬老の集い	4 8	3	2 0	映画会 (あん)	2 5
	2 0	敬老食事コース	4 8				

平成30年度行事実施表（防災訓練関係）

実施日	訓練内容
5・10	通報、初期消火、避難誘導訓練
7・5	夜間訓練. 宿直者、非常通報装置を作動させ、職員苑に集合
9・7	篠ノ井消防署・共和地区消防団・共和駐在所との総合訓練
11・7	通報、初期消火、避難誘導訓練
1・16	地震訓練
3・6	通報、初期消火、避難誘導訓練

（5）総括

① 居室内で転倒し骨折する入居者が多い一年であった。

今後の課題として居室の住環境整備が必要と思われる。

また、研修会などに参加しリスクマネジメントについての意識を高めていきたい。

3. 利用者

(1) 利用者の収入状況

種 類		男 性	女 性	個 別 計	合 計
厚生年金	老 齢 年 金	1	3	4	40人 (87%)
	老 齢 基 礎 年 金	8	21	29	
	通 算 老 齢 年 金	0	0	0	
	障 害 年 金	0	0	0	
	遺 族 年 金	0	7	7	
国民年金	老 齢 年 金	1	0	1	6人 (13%)
	通 算 老 齢 年 金	0	0	0	
	老 齢 基 礎 年 金	1	3	4	
	障 害 年 金	1	0	1	
共済組合	退 職 年 金	0	0	0	0人
	遺 族 年 金	0	0	0	(0%)
恩 給	普 通 恩 給	0	0	0	0人
	普 通 扶 助 料	0	0	0	(0%)

※ 2箇所以上の年金受給者は受給額の多いほうで表示してあります。

(2)入所前の住所について

地 区 名	現在入所中の利用者
長 野 市	35人 (76%)
北信地区	7人 (15%)
東信地区	3人 (7%)
中信地区	1人 (2%)
南信地区	0人 (0%)
他 府 県	0人 (0%)
合 計	46人 (100%)

(3)利用者の在苑期間について

在苑期間	人数(割合)	在苑期間	人数(割合)
1年未満	10人(21%)	7～ 8年	3人(7%)
1～2年	6人(13%)	8～ 9年	1人(2%)
2～3年	5人(11%)	9～10年	0人(0%)
3～4年	5人(11%)	1 0～11年	4人(8%)
4～5年	0人(0%)	11年 以上	6人(13%)
5～6年	3人(7%)	合 計	46人(100%)
6～7年	3人(7%)		

(4)利用者の年齢について

	男 性	女 性	合 計						
69歳以下	1人	0人	1人						
70～74歳	2人	3人	5人						
75～79歳	4人	5人	9人						
80～84歳	5人	7人	12人						
85～89歳	0人	12人	12人						
90歳以上	0人	7人	7人						
合 計	12人	34人	46人						

平均年齢 全体82.3歳 男性76.8歳 女性84.2歳

(5)利用者の縁故者状況

配偶者と子のいる者	0人	子のいる者	21人
配偶者のいる者	0人	親族のいない者	0人

(6)本年度の入退苑者

区 分	家 庭	1人暮らし	医療機関	他施設	その他	計
入苑者数	2人	6人	2人	2人	0人	12人
退苑者数	1人	0人	4人	3人	2人	10人
備 考				老健 2 ケアハウス1		

退苑理由	身体機能低下	認知症	家庭復帰	死 亡	その他
人 数	4人	0人	1人	2人	3人

利用者の年齢について

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
69歳以下	2	0	0	1	1
70～74歳	5	5	7	6	5
75～79歳	7	9	11	9	9
80～84歳	14	10	8	8	12
85～89歳	9	13	13	14	12
90歳以上	11	10	8	6	7
合計	48	47	47	44	46
全体平均	83歳	84歳	83歳	82歳	82歳
男性平均	80歳	82歳	78歳	76歳	76歳
女性平均	83歳	84歳	84歳	83歳	84歳
男性数	7	5	7	9	12
女性数	41	42	40	35	34

入退苑者数

入 苑

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
家庭		1	2	2	2
1人暮らし	5		6	4	6
医療機関		4		2	2
他施設	1	1	1		2
その他					
合計	6	6	9	8	12

退 苑

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
家庭	1				1
1人暮らし			2		
医療機関	5	5	2	4	4
他施設	2	2	3	4	3
その他			1	3	2
合計	8	7	8	11	10

4. 医 務

1 総 括

1) 感染症については、平常時から予防対策行い、インフルエンザ・ノロウイルス流行することなく過ごすことが出来ました。今後も、感染対策委員会・研修を実施し感染症に対して意識を高めていきたい。

2) 高齢者の特徴を知り(加齢による影響など)状態の変化、急変の前兆に気付く力を身につけていきたい。

3) 精神面が安定し生活していけるように、メンタルケアを大切にしていきたい。

2 在 苑 者 の 入 院 者 数

年 度	男 性	女 性	合 計	帰 苑
平成23年度	1	9	10	4
平成24年度	1	3	4	3
平成25年度	1	6	7	3
平成26年度	4	6	10	6
平成27年度	1	10	11	5
平成28年度	0	7	7	2
平成29年度	3	15	18	11
平成30年度	6	14	20	10

3 入院者の状況

科名	病名	性別	年齢	転帰
脳外	精査入院	男	81才	軽快
脳外	意識障害	男	81才	軽快
外科	乳癌	男	78才	軽快
外科	放射線治療	男	78才	軽快
内科	浮腫	男	89才	退苑
呼吸器科	肺癌	男	82才	退苑
内科	慢性腎不全	女	89才	軽快
内科	急性肺炎	女	82才	軽快
整形外科	右大腿骨骨折	女	88才	入院中
整形外科	腰椎圧迫骨折	女	95才	軽快
整形外科	右大腿骨骨折	女	81才	軽快
内科	パシエット病転移	女	96才	退苑
外科	大腸癌	女	78才	軽快
外科	癌転移	女	78才	退苑
整形外科	腰部圧迫骨折	女	97才	退苑
内科	血糖コントロール	女	88才	軽快
整形外科	左大腿骨骨折	女	74才	入院中
整形外科	恥骨骨折	女	85才	退苑
精神	精神不安定	女	80才	退苑
脳外	脳梗塞	女	86才	退苑

4 病名人数

病名	男性	女性	合計
高血圧症	10	19	29
高脂血症	3	15	18
心疾患	2	10	12
肺疾患	2	8	10

病名	男性	女性	合計
糖尿病	4	5	9
神経・精神疾患	1	10	11
脳卒中	4	3	7
脳卒中後遺症	3	2	5
腎臓病	2	2	4
肝臓病	1	4	5
大腸癌術後	0	3	3
胃腸障害	0	6	6
骨粗鬆症	0	5	5
腰部頸椎管狭窄症	1	4	5
前立腺肥大症	2	0	2
不眠症	0	4	4
腰痛症	3	1	4
認知症	2	7	9
膝関節症	1	5	6
パシエット病	0	1	1
乳癌	1	3	4
白内障	1	6	7
胸部大動脈瘤	1	0	1
てんかん	1	3	4
関節リウマチ	0	1	1
その他	11	33	44

5 給食

総括

食事が楽しみの一つとなるよう常に工夫し、かつ各個人の嗜好を十分に考慮した献立を作成し、年齢に合わせた調理を行うように心がけた給食を実施した。

(1) 一日の食事摂取基準について

本年度における、利用者一人の一日に摂取して頂きたい目標量及び実績は下記のとおりである。

目標	エネルギー	1 5 5 7 kcal	実績	1 5 6 0 kcal
	蛋白質	5 1 . 6 g ~		6 5 . 5 g
	脂肪	4 1 . 6 g		4 2 . 5 g

(2) 給食会議

隔月に、利用者数名と栄養士とが会議を開き、(すべての利用者が年間一回の参加) 給食関係の問題について意見の交換及び献立評価を行った。この会議において利用者の嗜好調査を行い かつ丼、牛丼、生寿司、のり巻、ちらし寿司、もつ煮、素材としてカキ、タラ、鮭、ブリ、さんま等の料理をとりいれた。

(3) 行事食

変化の乏しい日常生活の中で、季節感を取り入れ普段と場所や器を変えての会食は、利用者の楽しみの一つである。

(4) 献立表抜粋 (3月28日～3月31日)

	朝食	昼食	夕食
28 日	<p>麦入七分搗ご飯 豆腐とわけぎ味噌汁 もやしと焼豚炒 ピーナツ味噌 鮭フレーク 大根おろし 味のり</p>	<p>麦入七分搗ご飯 じゃが芋小松菜味噌汁 揚タラのマリネ スパゲッティソテー 赤蕪漬</p>	<p>麦入七分搗ご飯 麩えのきネギ味噌汁 一口おでん ブロッコリーサラダ しそニンニク漬 牛乳又はヤクルト</p>
29 日	<p>麦入七分搗ご飯 キャベツと麩味噌汁 玉葱コンビーフ炒 いかなご佃煮 醤油豆 大根おろし 味のり</p>	<p>グリーンピースご飯 豆腐と小松菜味噌汁 厚焼玉子 アスパラと牛肉炒 千切沢庵漬</p>	<p>麦入七分搗ご飯 じゃが芋三つ葉味噌汁 鮭塩焼 ホタルイカと葱炒 なばなクルミあえ 牛乳又はヤクルト</p>
30 日	<p>麦入七分搗ご飯 玉葱と若布味噌汁 きゃべつと竹輪炒 ニシン甘露煮 おかか昆布 大根おろし 味のり</p>	<p>麦入七分搗ご飯 かぶと葉の味噌汁 酢豚風 マカロニサラダ 茄子漬 バナナ</p>	<p>麦入七分搗ご飯 ニラと人参の味噌汁 長芋はんぺん煮物 ごぼうと牛肉炒 地大根漬 牛乳又はヤクルト</p>
31 日	<p>麦入七分搗ご飯 大根と人参の味噌汁 もやしとハム炒 金平ごぼう とりそぼろ 大根おろし 味のり</p>	<p>ひき肉と野菜のカレー カリフラワー卵サラダ 福神漬 ブルーベリーヨーグルト</p>	<p>麦入七分搗ご飯 えのきと白菜味噌汁 赤魚の煮付 うどんとさつま揚げ炒 なばなおひたし 牛乳又はヤクルト</p>